

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 消防本部警防課
-----------	---------------

コード	VII-21-49	施策名	救急体制・消防力の充実
まちづくりの 目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)	施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える
5年後の めざす姿	幼少期から火災の怖さや命の大切さについて学び、防火意識の向上、応急手当の普及、救急車の適正な利用につなげます。消防施設などを活用した訓練や研修により消防職員・消防団員の現場活動対応能力の向上をめざします。		
施策の課題	救急業務では活動自体が複雑かつ多様化しており、医療機関との連携をさらに推進する必要がある。その一方で講習会等を通じた市民との連携はコロナ禍を経て回復傾向にある。火災については減少傾向にあり、予防広報等が功を奏していると考えられる。消防団員の確保については、全国的に苦慮しており、関係機関との連携した取り組みを強化する必要がある。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	火災・救急・救助訓練の実施回数(年間)	各年度における訓練実施回数	目標	回	110	120	130	140	150
			実績		134	243	250	260	250
			達成率	%		220.9%	208.3%	200.0%	178.6%
	救急車の現場到着時間の短縮	救急年報	目標	分	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3
			実績		8.3	8.0	8.3	8.0	8.8
			達成率	%		96.3%	91.6%	93.8%	118.9%
	火災発生件数(年間)	火災年報	目標	件	14	14	14	14	14
			実績		21	15	18	19	13
			達成率	%		93.3%	77.8%	73.7%	107.7%
	消防団協力事業所認定数【累計】	消防団協力事業所の認定数	目標	件	15	17	19	21	22
			実績		13	15	17	19	20
			達成率	%		100.0%	100.0%	100.0%	95.2%
	救急救命士資格の取得人数	救急救命士資格取得者数	目標	人	23	24	25	26	27
			実績		22	24	25	28	29
			達成率	%		104.3%	104.2%	112.0%	111.5%
	学校や地域における救急救命講習会への参加者数	救急救命講習会の年間受講者数	目標	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績		2,094	636	839	427	1,566
			達成率	%		42.4%	55.9%	28.5%	104.4%
	安心安全お届けサービスの実施件数【累計】	安心安全お届けサービスの実施件数の累計(野津地域のみ)	目標	件	3,620	3,730	3,860	3,980	4,100
			実績		3,504	3,541	3,582	3,669	3,789
			達成率	%		97.8%	96.0%	95.1%	95.2%
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・火災・救急・救助については、組織的かつ計画的に時間の確保を行い十分な訓練を行うことができた。 ・救急救命士の育成については、人数的には増えてきたが、実働救命士の数はまだ不足している。 ・消防団員の確保については、地域の方々や事業所に呼びかけを行い、団員募集を継続実施できた。 ・安心安全お届け訪問については、様々な理由により対面の実施が難しくなっており、他の方法を要検討。 						
		指標達成に向け今後の流れ	火災予防や予防救急、消防団員の募集などについて、各種媒体を活用した広報活動を強化する。救命講習や安心お届け訪問など直接市民と接する事業については更なる効果を見込んだ方法を検討する。現場活動をイメージした実践的な訓練に取り組む。						

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.65	2.19	
		浸透度	
		86.98%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	救急出動業務	警防課				やや遅延	強化	中	
2	救急救命士養成業務	警防課	2,440	2,544		概ね順調	向上	大	
3	普通救命講習事業	警防課				やや遅延	強化	大	
4	無火災事業	予防課				概ね順調	向上	中	
5	消防団加入促進事業	総務課				やや遅延	強化	大	
6	安心安全お届けサービス事業	野津分署				やや遅延	向上	中	
7									
8									
9									
10									
合計			2,440	2,544	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

救急体制の充実については、計画的に救急救命士を養成し、高度救命処置ができる体制を確立する必要がある。また、市民による応急手当の実施率を向上させるため、更なる普及に努めることが重要である。
 消防力の充実については、火災件数の更なる減少を実現できるよう、防火啓発や住宅用火災警報器等の施策の充実にも努める。消防団員の確保については、事業所の理解を求め「消防団協力事業所表示制度」の普及を推進する。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	全国的に災害が多発しており、市民の安全に暮らせる施策へのニーズが高くなっていると感じている。今後も救急体制・消防力の更なる強化の取り組みが必要である。火災・救急・救助訓練の実施回数や救急救命士資格の取得人数等、目標値を超えているものもあるが、安心安全お届けサービスの実施件数等、目標を達成できていない項目もある。施策の充実のため指標に掲げた目標を意識した取り組みを強化していく必要がある。具体的な取り組みとして、救急救命士の計画的な養成、各媒体を通じた応急手当の普及啓発・火災予防広報、各機関と連携した消防団の強化等の事業を行っていく。